

## 地域安全ニュース

## 「あづみ野」

平成30年3月号（第278号）



安曇野防犯協会連合会  
安曇野警察署  
Tel 72-0110

携帯電話からは  
0263-72-0110

# 子供たちが狙われています！

## ～ 児童がネット利用で実際に被害に遭った具体例 ～

神奈川県座間市において、自殺願望をSNSに投稿するなどした女子高校生3人を含む9人の方が殺害される事件が発生しました。同事件については、被疑者が「死にたい」などの投稿をしていた被害者らと接触し、待ち合わせの日時や場所のやりとりを行っていたことが明らかになっています。SNSに関連した殺人や事件は今回に限ったことではなく、過去にも発生していますので具体例を掲載します。



### SNSを通じた出会いからの被害

被疑者と女子高生はSNSを通じて知り合い、その後、メール等のやり取りを通して実際に会う約束をした。

女子高生は、迎えに来た被疑者の車で山中に連れて行かれ殺害された。

### 19歳イケメン大学生になりすます

19歳の大学生モデルになりすました46歳の被疑者は、ネット掲示板に書き込まれた（公開された）LINEのIDを通じて女子中学生と知り合い、女子中学生のLINEグループに招待してもらった。

グループ内の女子中学生たちとやり取りを重ね、何人もの女子中学生から裸の写真を送信させていた。

### SNSを通じた出会いからの被害

被疑者は、被害児童が利用するブログ、Twitter等にコメントを書き込み、LINE、メールの連絡先を交換した。言葉巧みに親密度を高め、1回10万円を支払う約束で援助交際を要求し、応じた女子児童と会う約束をした。ホテルで女子児童との行為や学生証をスマートフォンで撮影したが、約束したお金を払わずに、再度行為を要求し、児童が断ると「撮影した画像をインターネットに流す」と脅迫した。



### 女の子向けスマホゲームの被害

被疑者は、ゲームアプリの掲示板にLINEのスタンプ無料提供を呼びかけ、連絡してきた女子児童とやり取りをするうち、裸の写真を送信するよう脅迫した。

別のスマートフォンで同年代の女子児童になりすまし、不安を煽り写真を送信するように仕向け、写真を送信させた。この画像を第三者に提供し、児童ポルノ画像を拡散させた。

## お子さんの携帯電話・スマートフォン使用を検討中の保護者の方へ

今や、大人だけではなく、多くの子供たちが携帯電話やスマートフォンを所持しています。多くの保護者が「親子の連絡用」として買い与えていると思いますが、実際には、インターネットへの接続ツールとして使用されており、有害な情報に接触する危険があります。お子さんに携帯電話やスマートフォンが本当に必要でしょうか。メリットだけでなくデメリットも考え、不安があるうちは持たせないという選択肢もあると思います。



### 持たせる場合は フィルタリングを利用しましょう



契約時に、使用者は子供である事を伝え、フィルタリング利用を申し込みましょう。

お子さんが安全にインターネットを利用できるようにするために、携帯電話は、携帯電話回線のフィルタリング、また、スマートフォンは、携帯電話回線、無線LAN回線（Wi-Fi回線等）、アプリの3つのフィルタリングが必要になります。

「よくわからない」「面倒くさい」「子供が嫌だと言う」から申し込まないのではなく、大切なわが子が犯罪の被害者にならないために、利用するようにしましょう。

### 携帯ゲーム機・携帯音楽プレーヤーにも フィルタリングを設定しましょう

携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤーの中には、無線LAN回線を使用してインターネットに接続することができる高性能な製品が販売されていますので、お子さんに手渡す前に、ホームページ閲覧制限やフィルタリングサービスを利用しましょう。

ゲーム機や音楽プレーヤーで、自分の部屋など親の知らないところでインターネットに接続し、アプリやゲームをダウンロードして夜遅くまでゲームやメールを続けていたという事例もあります。

ゲーム機や音楽プレーヤーを安全に利用するために、インターネット利用や課金などの機能制限の設定をしたり、フィルタリングソフトを利用するなどしましょう。



## 子供の携帯電話・スマートフォン利用に関心を持ちましょう

コミュニティサイト絡みの犯罪被害が多くなりましたが、携帯電話やスマートフォンを所持する以上、いつ我が子に何が起こっても不思議ではないと関心を持ちましょう。

一度流出した画像や情報は、削除してもそのコピーが出回り続けます。誹謗中傷やわいせつ画像の送受信は、子どもたちが被害者だけではなく、加害者にもなり得る危険性があります。

大切な我が子が犯罪の被害に遭わないために、「フィルタリング」だけに頼るのではなく、安全に正しい使い方ができているか見守りながら、インターネット利用の能力がつくように指導することも保護者の責任です。

